

令和6年度鹿児島県歯科口腔保健推進協議会の開催結果について

- 1 日 時 令和6年10月25日（金） 15時45分～17時15分
- 2 場 所 県行政庁舎7階 7-総-1
- 3 出席者 13名（代理出席2名含む）
伊地知会長，大重委員，大西委員，玉木委員
八田委員（代理：渡邊副会長）下川委員，油田委員
大山委員，塩谷委員，太良木委員，亀之園委員
地頭所委員（代理：栗山健康教育係長），房村委員
- 4 傍聴者 1名

5 内 容

（1） 報告

- ア 鹿児島県歯科口腔保健計画について
- イ 本県の歯科口腔保健の現状について
- ウ 令和6年度の県及び市町村の歯科保健事業の実施状況について
- エ 令和6年度各団体の歯科口腔保健に関する取組状況について
- オ 県口腔保健支援センターの実績等について

（2） 協議事項

令和6年度「県歯科口腔保健推進協議会」実務関係者検討会のテーマについて
テーマ（案）「医療的ケア児の歯科保健医療の支援体制について」

◎協議結果：事務局が提案したテーマ（案）が承認された。

【主な意見】

- 実務関係者検討会で医療的ケア児の歯科保健医療のニーズについての検討をしていただければと思う。医療的ケア児の方々は訪問歯科診療を受ける方が多いと聞いている。歯科のニーズは大きいのではないかと。
- 非常に素晴らしい試みだと思う。地域の歯科医師が訪問歯科を行うのは難しいかもしれないので、勉強会があったらさらにいいと思う。
- 医療的ケア児に対して口腔ケアができる歯科衛生士の育成がまずは必要と思う。研修会なども実施していったらいいのではないかと。
- 医療的ケア児のトータル的な支援を考えて、歯科は重要なことだと思う。地域によっては歯科医師が少なかったり、偏在しているところもある。特に離島においては、そのような状況も踏まえ、支援体制の検討をしてほしい。